

Press Release

2014年9月8日

**東京グローバルヘッドクォータ オープンハウス
盛況のうちに閉会**

DMG 森精機株式会社(以下、DMG 森精機)は、9月1日(月)～5日(金)の5日間、弊社 東京グローバルヘッドクォータにてオープンハウスを開催し、1,900名を上回るお客様にご来場いただきました。今回は世界初出展となる2機種を含む計31台の先進の工作機械を展示しました。都心からのアクセスが良く、都市型のショールームとして機能する東京グローバルヘッドクォータで開催したこともあり、会場は連日活気に満ちあふれました。多数のご来場、誠にありがとうございました。

会場では、世界初出展となり、新デザインコンセプト機で第2世代となる複合加工機 NTX 1000 や、アジア初出展となる超音波加工機 ULTRASONIC 30 *linear* など最新鋭の工作機械を展示し、自動車、航空機、建設機械、医療機器、金型、エネルギー産業などあらゆる業種の最新のデモ加工を実演しました。

自動車部品加工のご提案として、世界初出展となる i 50 を始め、高生産性立形マシニングセンタ MAX 3000 や4軸複合加工機 NZX-S 2500、次世代コンパクトマシニングセンタ MILLTAP 700 といった自動車の量産部品加工に最適な4機種を展示しました。特に新機種で、自動車のシリンダブロックとシリンダヘッドの加工に最適な量産部品加工用高速横形マシニングセンタ i 50 は、2台並べて展示を行い、お客様の注目を集めていました。i 50 は、ターゲットワークに特化した設計をすることで省スペースと高速加工を可能にしており、今回はシリンダブロックのデモ加工を通じて、お客様の生産性向上に貢献するソリューションをご提案いたしました。

期間中は毎日、最先端技術セミナーを開催しました。セミナーは「最新の業種別加工事例の紹介」をテーマに航空機、5軸加工、自動車、金型の4分野について、加工課題から最先端技術にいたるまで、未来志向の技術情報をご紹介します。連日多くの方にご参加いただきました。

また、今回のオープンハウスでは、イブニングアワーとしてお客様が仕事帰りにもお越しいただけるように連日20時まで開催し、17時以降はアルコールのご提供も行いました。イブニングアワーの開催は大変ご好評をいただき、多くのお客様にご来場いただきました。今後も20時まで開催するオープンハウスを定期的に行っていく予定です。

会期中にお客様からいただきました貴重なご意見、ご感想を今後の製品開発やサービスサポートの一層の充実につなげてまいります。

以上



写真 1. 展示会場風景



写真 2. i 50



写真 3. NTX 1000



写真 4. セミナー風景